

4.2 フィリピの信徒への手紙 1 章 12 節～26 節

- パウロはどのような状況にありますか。What do you tell about Paul's situation? (vs 12-13)

[Ref] 12 兄弟たち、わたしの身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったと知ってほしい。13 つまり、わたしが監禁されているのはキリストのためであると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡り、

[Ref] 12 Now I want you to know, brothers and sisters, that what has happened to me has actually served to advance the gospel. 13 As a result, it has become clear throughout the whole palace guard and to everyone else that I am in chains for Christ.

[A] 投獄・監禁されている。

[DQ] どの程度、危険な状態なのだと思いますか。

[A] おそらく、死の可能性もある。

[DQ] 自分の状況をなぜ知らせるのでしょうか。「知ってほしい」のでしょうか。

[A] 否定的に捕らえたり、落胆したり、絶望したりする可能性もある中が、フィリピの信徒を同労者だから。兄弟姉妹だからとして伝えている。互いに・相互性がたいせつだから。「知る」ための「情報」と「識別（見抜く）」ための見方。

－ とりなしの祈りをしたあとに、自分の状況についても知らせている。

－ 信頼関係にある。

－ 様々な影響について、パウロの見方をしってほしい。

[DQ] これまでにも、監禁について（同様のこと）は、書かれていますか。

[Ref] 7 わたしがあなたがた一同についてこのように考えるのは、当然です。というのは、監禁されているときも、福音を弁明し立証するときも、あなたがた一同のことを、共に恵みにあずかる者と思って、心に留めているからです。

パウロに関わる問題について

- 12-19 投獄・収監
- 20-26 パウロの生と死

監禁・投獄: 自由ではない。（幸せではない!?)

監禁場所: カイザリア Acts 23-26, ローマ Acts 28, エペソ Acts 19

- パウロが捕らえられていることによって、どのようなことが起こっていると伝えていますか。 What does Paul tell the outcomes of his imprisonment? (vs 12-14)

[Ref] 12 兄弟たち、わたしの身に起こったことが、
かえって福音の前進に役立ったと知ってほしい。
 13 つまり、わたしが監禁されているのはキリストのためであると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡り、14 主に結ばれた兄弟たちの中で多くの者が、わたしの捕らわれているのを見て確信を得、恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになったのです。

[Ref] 12 Now I want you to know, brothers and sisters, that what has happened to me has actually served to advance the gospel. 13 As a result, it has become clear throughout the whole palace guard and to everyone else that I am in chains for Christ. 14 And because of my chains, most of the brothers and sisters have become confident in the Lord and dare all the more to proclaim the gospel without fear.

[A] 素晴らしいことが起こっている。

- － 福音の前進に役立った
- － キリストのため であると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡り
- － 兄弟たちの中で多くの者が、確信を得ますます勇敢に、御言葉を語るようになった

[兵営] ローマ皇帝の親衛隊の弊社が原意、以後官邸にも用いられる

[DQ] その他のすべての人々？

「主に結ばれた」がここでは、兄弟たちにかかっている

“in the Lord” はここでは、確信に罹っている。

キリストのため

[DQ] 投獄・監禁の理由が「キリストのためである」ことが知れ渡ることがなぜ、福音の前進に役立つのでしょうか。

[A] キリストのために、投獄されることをも、恥としないものがいることが知られること。第一段階。

[DQ] なぜ、「わたしの捕らわれているのを見て確信を得、恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになった」(14) のでしょうか。

[A] パウロに従っているのではなく、素晴らしいからパウロの分までも、語り続ける。「やっばりの会」

[DQ] 受取手は、パウロの「監禁・投獄」からどのようなことを考えており、また、この手紙のこの箇所からどのようなことを学んだのでしょうか。

(continued)

[DQ] 「福音の前進」とは「キリストが宣べ伝えられる」とはどのような事でしょうか。

前進 προκοπή: progress, advancement

[A] 具体的には、13,14 節で述べられていること。本質的には、イエス・キリストによって宣べ伝えられた「福音」によって人々が悔い改め、神のみところに生きること。

[Ref] Phil 1:25 こう確信していますから、あなたがたの信仰を深めて喜びをもたらすように、いつもあなたがた一同と共にいることになるでしょう。

[Ref] 1Cor 9:12 他の人たちが、あなたがたに対するこの権利を持っているとすれば、わたしたちはなおさらそうではありませんか。しかし、わたしたちはこの権利を用いませんでした。かえってキリストの福音を少しでも妨げてはならないと、すべてを耐え忍んでいます。

[Ref] 1Tim 4:15

妨げ ἐγχοπή

[DQ] 「福音の前進」・「キリストが宣べ伝えられる」はすべての価値観を変えてしまう、「最もたいせつなこと（本当に重要なこと（9））」なのでしょうか。

[Ref] 3:8,9 そればかりか、わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくと見なしています。キリストを得、9. キリストの内にいる者と認められるためです。わたしには、律法から生じる自分の義ではなく、キリストへの信仰による義、信仰に基づいて神から与えられる義があります。

[DQ] 確信（14）とは何を確信しているのでしょうか。

- キリストの宣教をするひとたちに、どのような二種類のひとたちがいると言っていますか。How does Paul say about the two groups of people committed to evangelism? (vs 15-17)

[Ref] 15 キリストを宣べ伝えるのに、ねたみと争いの念にかられてする者もいれば、善意でする者もあります。16 一方は、わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、17 他方は、自分の利益を求めて、獄中のわたしをいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせているのです。

[Ref] 15 It is true that some preach Christ out of envy and rivalry, but others out of goodwill. 16 The latter do so out of love, knowing that I am put here for the defense of the gospel. 17 The former preach Christ out of selfish ambition, not sincerely, supposing that they can stir up trouble for me while I am in chains.

[A] 二種類の人たち

- － 善意で キリストを宣べ伝える。
わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からキリストを宣べ伝える。
主に結ばれた兄弟たちの中で多くの者が、わたしの捕らわれているのを見て確信を得、恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになった。(14)
- － ねたみと争いの念にかられて、キリストを宣べ伝える。
自分の利益を求めて、獄中のわたしをいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせている。
- － (neutral) わたしが監禁されているのはキリストのためであると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡った。(13)

- 善意で、愛の動機から、キリストの宣教をするとは、どのようなことでしょうか。How do you describe ‘preaching Christ out of goodwill and love’? (vs 15,16)

[Ref] 15 キリストを宣べ伝えるのに、ねたみと争いの念にかられてする者もいれば、善意でする者もいます。16 一方は、わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、17 他方は、自分の利益を求めて、獄中のわたしをいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせているのです。

[Ref] 15 It is true that some preach Christ out of envy and rivalry, but others out of goodwill. 16 The latter do so out of love, knowing that I am put here for the defense of the gospel. 17 The former preach Christ out of selfish ambition, not sincerely, supposing that they can stir up trouble for me while I am in chains.

[DQ] 「愛の動機」とは誰の、誰に対する愛でしょうか。

[A] 「わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って」とあるので、パウロへの愛だろうか。共働の連帯？

- 「ねたみと争いの念にかられて」キリストを宣べ伝えるとは、どのようなことでしょうか。How do you describe ‘preaching Christ out of selfish ambition’? (vs 15,17)

[Ref] 15 キリストを宣べ伝えるのに、ねたみと争いの念にかられてする者もいれば、善意でする者もいます。16 一方は、わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、17 他方は、自分の利益を求めて、獄中のわたしをいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせているのです。

[Ref] 15 It is true that some preach Christ out of envy and rivalry, but others out of goodwill. 16 The latter do so out of love, knowing that I am put here for the defense of the gospel. 17 The former preach Christ out of selfish ambition, not sincerely, supposing that they can stir up trouble for me while I am in chains.

[Note] 利己的な野望？ 異なった意見のために、別の集団を作る。

[Ref] 2Cor 11:12,13 わたしは今していることを今後も続けるつもりです。それは、わたしたちと同様に誇れるようにと機会をねらっている者たちから、その機会を断ち切るためです。13 こういう者たちは偽使徒、ずる賢い働き手であって、キリストの使徒を装っているのです。

[Ref] Gal 6:12 肉において人からよく思われたがっている者たちが、ただキリストの十字架のゆえに迫害されたくないばかりに、あなたがたに無理やり割礼を受けさせようとしています。

(continued)

[DQ] 異なる教派で活動することとは、違うのでしょうか。

[DQ] 「ねたみと争い」とはどのようなことを意味しているのでしょうか。

[A] パウロに対して苦々しい思いをもっているひともいたのではないだろうか。いまこそと、覇権を取ろうとしている人もいたかもしれない。

[Ref] 2Pet 3:14-16 だから、愛する人たち、このことを待ち望みながら、きずや汚れが何一つなく、平和に過ごしていると神に認めていただけるように励みなさい。15 また、わたしたちの主の忍耐深さを、救いと考えなさい。それは、わたしたちの愛する兄弟パウロが、神から授かった知恵に基づいて、あなたがたに書き送ったことでもあります。16 彼は、どの手紙の中でもこのことについて述べています。その手紙には難しく理解しにくい個所があって、無学な人や心の定まらない人は、それを聖書のほかの部分と同様に曲解し、自分の滅びを招いています。

[Ref] Gal 2:11-14 さて、ケファがアンティオキアに来たとき、非難すべきところがあったので、わたしは面と向かって反対しました。12 なぜなら、ケファは、ヤコブのもとからある人々が来るまでは、異邦人と一緒に食事をしていたのに、彼らがやって来ると、割礼を受けている者たちを恐れてしり込みし、身を引こうとしだしたからです。13 そして、ほかのユダヤ人も、ケファと一緒にこのような心にもないことを行い、バルナバさえも彼らの見せかけの行いに引きずり込まれてしまいました。14 しかし、わたしは、彼らが福音の真理にのっとってまっすぐ歩いていないのを見たとき、皆の前でケファに向かってこう言いました。「あなたはユダヤ人でありながら、ユダヤ人らしい生き方をしないで、異邦人のように生活しているのに、どうして異邦人にユダヤ人のように生活することを強要するのですか。」

- パウロは、何を喜んでいますか。それは、なぜですか。 What makes Paul rejoice under the circumstances? (vs 18,19)

[Ref] 18 だが、それがなんだろう。口実であれ、真実であれ、とにかく、キリストが告げ知らされているのですから、わたしはそれを喜んでいます。これから喜びます。19 というのは、あなたがたの祈りと、イエス・キリストの霊の助けによって、このことがわたしの救いになると知っているからです。

[Ref] 18 But what does it matter? The important thing is that in every way, whether from false motives or true, Christ is preached. And because of this I rejoice. Yes, and I will continue to rejoice, 19 for I know that through your prayers and God's provision of the Spirit of Jesus Christ what has happened to me will turn out for my deliverance.

[A] 「福音の前進」「キリストが宣べ伝えられる」こと。「キリストが告げ知らされ」ていること。神のすばらしさ（栄光）が現されること。そして、あなたたちと、共働していることの実を見ていること。

[DQ] 福音の前進がパウロにとってすべてなのでしょうか。

[DQ] このように書くことで、フィリピのひとたちにどのようなメッセージを伝えているのでしょうか。

[A] お互いに祈り合いましょう。細かいことで争うな？ パウロを助けると言って、党派心を持つな。神様に目をむけて、「本当に重要なこと」を考えてください。

[DQ] 「『ねたみと争いの念にかられて』キリストを宣べ伝える」ことをも喜んでいるのですか。

[Ref] Job 13:16 このわたしをこそ／神は救ってくださるべきではないか。神を無視する者なら／御前に入るはずはないではないか。

(continued)

[DQ] 「あなたがたの祈り」はどのような祈りを求めているのでしょうか。

[Ref] Rm 15:30 兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストによって、また、“霊”が与えてくださる愛によってお願いします。どうか、わたしのために、わたしと一緒に神に熱心に祈ってください、

[Ref] 2Cor 1:11 あなたがたも祈りで援助してください。そうすれば、多くの人のお陰でわたしたちに与えられた恵みについて、多くの人々がわたしたちのために感謝をささげてくれるようになるのです。

[Ref] 1Theiss 5:25 兄弟たち、わたしたちのためにも祈ってください。

[Ref] Philemon 22 ついでに、わたしのため宿泊の用意を頼みます。あなたがたの祈りによって、そちらに行かせていただけるように希望しているからです。

[DQ] 自分の救いとなることを喜んでいるのでしょうか。

「わたしの救い」(19)の内容は何かなののでしょうか。

[DQ] 本当に喜んでいるのでしょうか。喜ばしいことなののでしょうか。

[Ref] Rm 12:21 悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。

[DQ] ねたみや争い(党派心)で対抗するのではなく、神に目を向ける。

[DQ] なんでも良い方に考えなさいということでしょうか。

[A] 神が喜ばれるかどうか。

[Ref] Mt 6:33 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

[Ref] Rm 8:26 神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。

- パウロは、生きることと死ぬことについて、なにを望んでいますか。What is Paul's desire 'to live and to die?' (vs 20,21)

[Ref] 20 そして、どんなことにも恥をかかず、これまでのように今も、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願い、希望しています。21 わたしにとって、生きるとはキリストであり、死ぬことは利益なのです。

[Ref] 20 I eagerly expect and hope that I will in no way be ashamed, but will have sufficient courage so that now as always Christ will be exalted in my body, whether by life or by death. 21 For to me, to live is Christ and to die is gain.

[DQ] 「恥をかかず」はどのようなことを表現していますか。

[A] 神に捨てられること。神のさばき。

[DQ] 「生きるとはキリストであり、死ぬこと（死ぬ行為：不定過去の不定法、死の状態ではない）は利益」とはどのような意味ですか。

[Ref] Gal 2:20 生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

公然と・堂々と語って παρρησία:

I. freedom in speaking, unservedness in speech openly, frankly, i.e without concealment without ambiguity or circumlocution without the use of figures and comparisons

II. free and fearless confidence, cheerful courage, boldness, assurance

III. the deportment by which one becomes conspicuous or secures publicity

(continued)

[DQ] 死ぬことは、どのような意味で、益なのでしょう
うか。天国に行くからでしょうか。

[A] 神とともにいること。イエスと顔と顔を合わせ
てまみえること。

[Ref] 1Cor 15:54-57 この朽ちるべきものが朽ちな
いものを着、この死ぬべきものが死なないものを
着るとき、次のように書かれている言葉が実現す
るのです。「死は勝利にのみ込まれた。 55 死よ、
お前の勝利はどこにあるのか。死よ、お前のとげ
はどこにあるのか。」 56 死のとげは罪であり、罪
の力は律法です。 57 わたしたちの主イエス・キリ
ストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝
しよう。

[DQ] 結局、個人の尊厳ではなく、全体としての利
益中心主義でしょうか。「お国のためなら喜んで死
ねる。」

[DQ] 「わたしにとって、生きるとはキリストであ
り、死ぬことは利益なのです。」はどのようなこと
を伝えているのでしょうか。 What does Paul tell
by ‘For to me, to live is Christ and to die is gain’?
(v21)

[Ref] 21 For to me, to live is Christ and to die is
gain.

- パウロは、どんな二つのことに板挟みになっていると言っていますか。What torn Paul between the two? (vs 22-26)

[Ref] 22 けれども、肉において生き続ければ、実り多い働きができ、どちらを選ぶべきか、わたしには分かりません。23 この二つのことの間で、板挟みの状態です。一方では、この世を去って、キリストと共にいたいと熱望しており、この方がはるかに望ましい。24 だが他方では、肉にとどまる方が、あなたがたのためにもっと必要です。25 こう確信していますから、あなたがたの信仰を深めて喜びをもたらすように、いつもあなたがた一同と共にいることになるでしょう。26 そうなれば、わたしが再びあなたがたのもとに姿を見せるとき、キリスト・イエスに結ばれているというあなたがたの誇りは、わたしゆえに増し加わることになります。

22 If I am to go on living in the body, this will mean fruitful labor for me. Yet what shall I choose? I do not know! 23 I am torn between the two: I desire to depart and be with Christ, which is better by far; 24 but it is more necessary for you that I remain in the body. 25 Convinced of this, I know that I will remain, and I will continue with all of you for your progress and joy in the faith, 26 so that through my being with you again your boasting in Christ Jesus will abound on account of me.

[DQ] パウロには、この二つのことについて、選択権（自分で決めることができる権利）はあったのでしょうか。

[A] 少しの幅はあったかもしれないが、本質的には、おそろくなかっただろう。自殺することはない。

[DQ] フィリピに再度行くことを確信しているのでしょうか。行けないと失敗なのではないでしょうか。

- （自分では決めることはできないことに直面している）パウロは、なにを願っているのでしょうか。
What is Paul's wish when he is unable to decide?

使徒としての使命が最大？

[Ref] 9 わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、10 本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、11 イエス・キリストによって与えられる義の実をあふれるほどに受けて、神の栄光と誉れとをたたえることができるように。

[Ref] 9 And this is my prayer: that your love may abound more and more in knowledge and depth of insight, 10 so that you may be able to discern what is best and may be pure and blameless for the day of Christ, 11 filled with the fruit of righteousness that comes through Jesus Christ—to the glory and praise of God.

[DQ] この祈りが実現するように、パウロは、今日の箇所で、何を伝えていますか。「知る」ための「情報」として、「見抜く」ための考え方について。

[DQ] フィリピの人にも、自分のようになっていることを求めているのでしょうか？

[A] そこまでは求めていないかもしれない。理解して欲しい。単純に悲しまないで欲しい？ それが究極的に共に生きること。

- あなたは、自分で解決することができない問題、または、生と死において「本当に重要なこと」(v10)は何だと思いますか。What is most important when you face problems you are unable to solve? (v10)

[Ref] 9 わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、10 本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、

[Ref] 9 And this is my prayer: that your love may abound more and more in knowledge and depth of insight, 10 so that you may be able to discern what is best and may be pure and blameless for the day of Christ,

[A] 「本当に重要なこと」(v10) は、ひとり一人にとって異なっているのかもしれない。パウロと、フィリピの人たち、そして、パウロ達と関わる人々、ひとり一人にとっても。パウロは、自分にとって、「本当に重要なこと」(v10) を、フィリピの信徒たちいん、伝えている。そして、それは、パウロとフィリピの信徒たちと共有していることもあり、少しちがっていることもあるだろう。わたしは、そして、われわれは、どう生きたら良いのだろうか。

[マザーテレサ] 大きな事をする必要はありません。小さな事に大きな愛を込めればよいのです。You do not have to do anything great. Do a little thing with great love.

[HS] Be available, stay vulnerable! これがわたしにとっての「生きることはキリスト、死ぬことは益です。」

(continued)

[天声人語 2020.2.6] 他者を排除せず、意見の違いを認める。そんな寛容な社会を大切にする者への戒めがある。「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容たるべきでない」。フランス文学者の渡辺一夫が残した言葉だ▼もともと寛容さを持っていた古代ローマ社会は、初期キリスト教については弾圧の道を選んだ。他の教えを認めない、あまりに不寛容な宗教だったからだ。しかしそのやり方は、キリスト教側をますますいきり立たせたと渡辺は書いている。不寛容の連鎖である。

- － パウロが説いた福音：ユダヤ教の律法主義をただすこと。十字架の上での贖罪の死と、勝利の復活に裏打ちされた、恵みとしての信仰（神様との信頼関係の上になりたつ）救いを福音として説く使命。
- － パウロの状況：異教徒の不道徳とその背景にある偶像礼拝へのチャレンジ。
- － 現代：Unitarian Universalist

[DQ] パウロは、人類が経験してきた、このあとの、長い歴史を見たら、なにを考えるだろうか。パウロが、フィリピの信徒への手紙を書いたときに思っていた、「本当に重要なこと」の、何は、同じで、何は、変わっているのだろうか。それとも、なにも、変わっていないのだろうか。あなたは、どう思いますか。

4.3 フィリピの信徒への手紙 1 章 27 節～2 章 4 節

- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]
- [Ref]
[DQ]
[Ref]